



平成 29 年 9 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイセキ  
代表者名 代表取締役社長 柱 秀貴  
(コード番号 9793 東証・名証第一部)  
問合せ先 企画管理本部長 片瀬 秀樹  
(電話番号 052-611-6322)

### 連結子会社の業績予想修正発表に関するお知らせ

本日、平成 29 年 9 月 15 日 15 時に当社の連結子会社であります株式会社ダイセキ環境ソリューション（コード番号 1712）におきまして、添付資料のとおり「業績予想の修正に関するお知らせ」を本日発表いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これによる当社の平成 30 年 2 月期連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

以 上



平成29年9月15日

各 位

会 社 名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション  
代表者名 代表取締役社長 二宮 利彦  
コード番号 1 7 1 2 (東証・名証各第一部)  
問合せ先 総務部ゼネラルマネージャー 谷口 正典  
電話番号 052(611)6350 (代表)  
当社の親会社 株式会社 ダイセキ  
代表者名 代表取締役社長 柱 秀貴  
コード番号 9 7 9 3 (東証・名証各第一部)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月6日に発表いたしました平成30年2月期(平成29年3月1日から平成30年2月28日まで)の第2四半期(累計)及び通期の連結並びに個別の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 業績予想の修正について

(1) 平成30年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年3月1日~平成29年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,366	737	741	450	26 88
今回修正予想(B)	7,466	537	577	376	22 42
増減額(B-A)	100	△200	△164	△74	—
増減率(%)	1.3	△27.1	△22.1	△16.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年2月期第2四半期累計期間)	7,426	870	873	564	33 68

当社は、平成29年3月1日を効力発生日として、普通株式1株を1.2株に分割しております。これに伴い、前連結会計年度(平成29年2月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。また、平成29年6月30日を払込期限として、譲渡制限付株式報酬としての新株式60,000株を発行しております。

なお、以下(2)から(4)まで同様であります。

## (2) 平成30年2月期通期連結業績予想数値の修正 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,600	1,894	1,900	1,157	69 04
今回修正予想 (B)	16,700	1,694	1,736	1,083	64 45
増減額 (B-A)	100	△200	△164	△74	—
増減率 (%)	0.6	△10.6	△8.6	△6.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年2月期通期)	14,372	1,508	1,533	954	56 93

## (3) 平成30年2月期第2四半期 (累計) 個別業績予想数値の修正 (平成29年3月1日～平成29年8月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,720	651	419	25 00
今回修正予想 (B)	6,761	448	330	19 67
増減額 (B-A)	41	△203	△89	—
増減率 (%)	0.6	△31.2	△21.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年2月期第2四半期累計期間)	6,806	796	529	31 60

## (4) 平成30年2月期通期個別業績予想数値の修正 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,195	1,679	1,080	64 42
今回修正予想 (B)	15,236	1,476	991	58 98
増減額 (B-A)	41	△203	△89	—
増減率 (%)	0.2	△12.1	△8.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年2月期通期)	13,086	1,377	890	53 11

## 2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、土壌汚染調査・処理事業は、西日本エリアが不調ではありましたが、首都圏では、東京五輪に向けての開発工事等が増加傾向にあり、全体としては堅調に推移しました。また、廃石膏ボードリサイクル事業も堅調に推移したため、売上高は予想をやや上回りました。

しかしながら、本年4月に完成しました土壌処理施設(弥富リサイクルセンター)の試運転、実機テスト等に時間がかかり、当期間内での処理実績が目標処理数量を大幅に下回ったため、減価償却費等の固定費をカバーできず、収支が悪化したしました。

その結果、第2四半期累計期間及び通期について、営業利益、経常利益、四半期純利益(当期純利益)が、平成29年4月6日に公表しました業績予想を下回る見通しとなったため、業績予想を修正するものであります。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上